

処分場まで、廃棄体をどのようにして輸送するのですか？

海上または陸上から処分場へ輸送されます。
これまでの実績を十分に活用して安全に輸送します。

廃棄体は貯蔵施設で輸送容器に収納され、
処分場の場所に応じて海上または陸上から輸送されます。
海上輸送は専用輸送船で行われ、陸上輸送には専用輸送車両が使用されます。
頑丈な輸送容器は、放射能の閉じ込めや放射線の遮へいはもちろん、
万一の事故なども想定した厳しい基準に基づき設計・製作されます。
これまで海外での再処理に伴って製造されたガラス固化体の輸送が安全に実施されており、
その技術を適用することができます。

高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）の輸送の例

* 下記は高レベル放射性廃棄物の輸送の例を示します。地層処分 低レベル放射性廃棄物も同様な方法で処分場まで輸送されます。

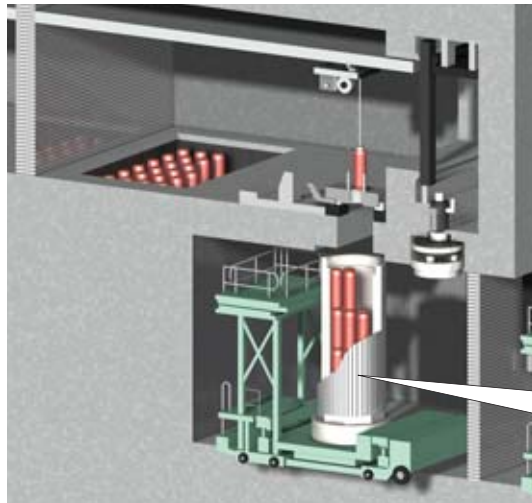
貯蔵施設



高レベル放射性廃棄物貯蔵施設の貯蔵ピット
(※青森県六ヶ所村の高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの例)
写真提供：日本原燃株式会社

輸送容器へ収納

輸送容器への収納イメージ

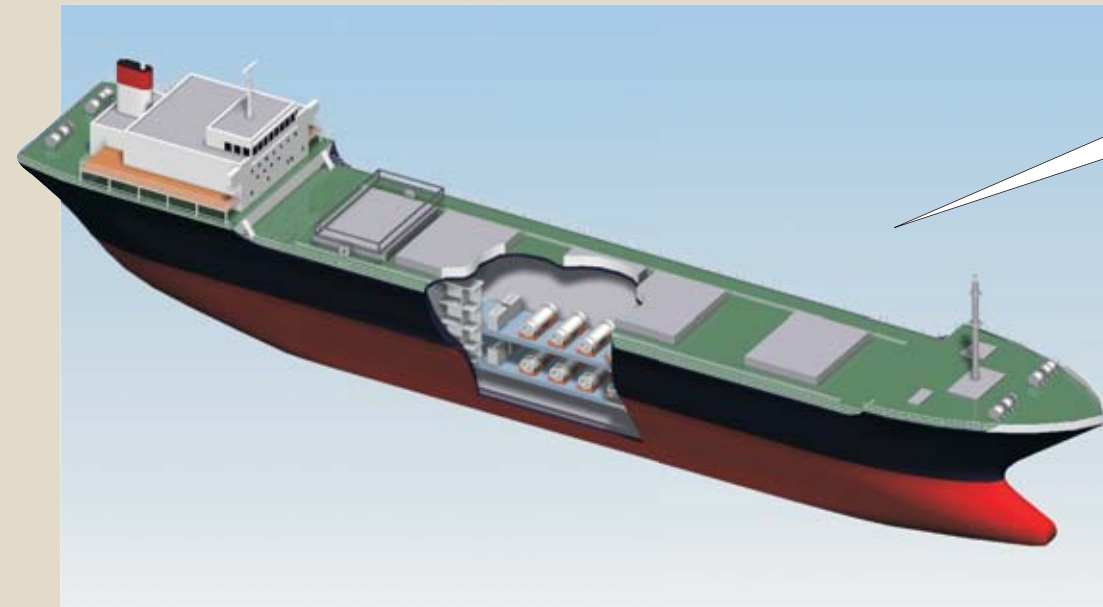


遠隔操作で、ガラス固化体が
輸送容器に収納されます。

輸送容器

- 落下、火災、水没など
万一の場合も想定して
設計・製作されます。

ガラス固化体を輸送



専用輸送船

- 万一の衝突などを考慮して、船体は二重構造、衝突防止システムや防火設備などが装備されます。
- 海上輸送の場合も、最寄りの港から処分場までの陸上輸送は専用輸送車両で行われます。

処分場へ搬入



ガラス固化体は、処分場の高レベル放射性廃棄物受入・封入・検査施設へ搬入されます。

最寄りの港から陸上輸送



専用輸送車両

- 輸送容器の転落防止のための設計や、ブレーキの二重化など十分な安全対策が講じられます。
- 処分場までは、輸送専用道路または一般道路で輸送されます。